

1階ギャラリー企画展より～図書館主催展のお知らせ～

1階のギャラリーでは、県の施策や様々なテーマに沿った企画展を今年は42回行います。今回は本館主催の企画展について紹介いたします。(6月以降)

今回の主催展では、昨年宮崎に甚大な被害をもたらした口蹄疫に関する企画展を開催します。口蹄疫の発生から終息宣言までの経過を一望するパネルや、種雄牛の作り方、消毒についてのパネルなどを展示する予定です。口蹄疫による災禍を繰り返さず、宮崎の今後の発展につなげられるような企画展にしたいと考えています。

また、10月に予定している学校情報企画展では、県内の専門系高等学校の説明パネルなどを紹介し、中学生の進路選択の参考にしてもらえる企画展をめざします。そして、やはり「図書館」ですので、県民の皆様の読書活動を推進する「秋の読書週間」企画展を「図書館フェスタ」と共に開催します。

今後も様々な企画展を予定しておりますので、ぜひ、皆様ご来館ください。

今年度の主催企画展の日程

◇「口蹄疫」関連企画展

平成23年6月14日(火)～6月26日(日)
～昨年、宮崎県を襲った口蹄疫被害についての企画展～

◇学校情報企画展

平成23年10月18日(火)～10月30日(日)
～県内の各県立高等学校を紹介する企画展～

◇「秋の読書週間」関連企画展

平成23年11月1日(火)～11月6日(日)
～「秋の読書週間」にあわせて、本の紹介を行う企画展～

◇ビジネス支援関連企画展

平成24年1月31日(火)～2月12日(日)
～本館が行っている「ビジネス支援事業」に関する企画展～

「おはなしのへや」から～こんな本はいかがですか？～

☆ なつのおはなし会にぴったり！なおすすめの本を紹介します ☆



★「アリからみると」

桑原 隆一／文 栗林 慧／写真 福音館書店 2004

「かがくのとも傑作集」の一冊。タイトルどおり、アリからみた自然のせかい。アリの目線からみると、ショウリョウバッタ(表紙の写真)もこんなにおおきい。こどもたちのかがかくへの関心を高められる写真絵本です。

幼児から小学低学年対象。

★「めっきらもっきら どおん どん」

長谷川 摂子／作 ぶりや なな／画 福音館書店 1990



あそぶともだちをさがしにきた かんたは、めちゃくちゃな歌「ちんぷく まんぷく ～」をうたってやった。すると不思議な世界へ迷いこんでしまって、おかしなおばけたちと出会って遊ぶことに。

でも急に心ぼそくなったかんたは・・・。

はたして、もとの世界にもどることができるのでしょうか？

幼児から小学生対象。大型絵本はさらにダイナミックな絵なので、おはなし会にはぜひご活用を。

【編集後記】

今年度から緑陰通信は年3回の発行になります。今回は年間予定されている行事を紹介いたしました。ぜひ、多くの皆様に御参加いただけますよう、お願いいたします。また、3月から図書館職員による「職員ブログ」を始めました。職員の仕事内容や図書館の行事の様子などを載せていますので、ぜひ、ご覧ください。

アドレス <http://himukablog.miyazaki-c.ed.jp/blog/library/>